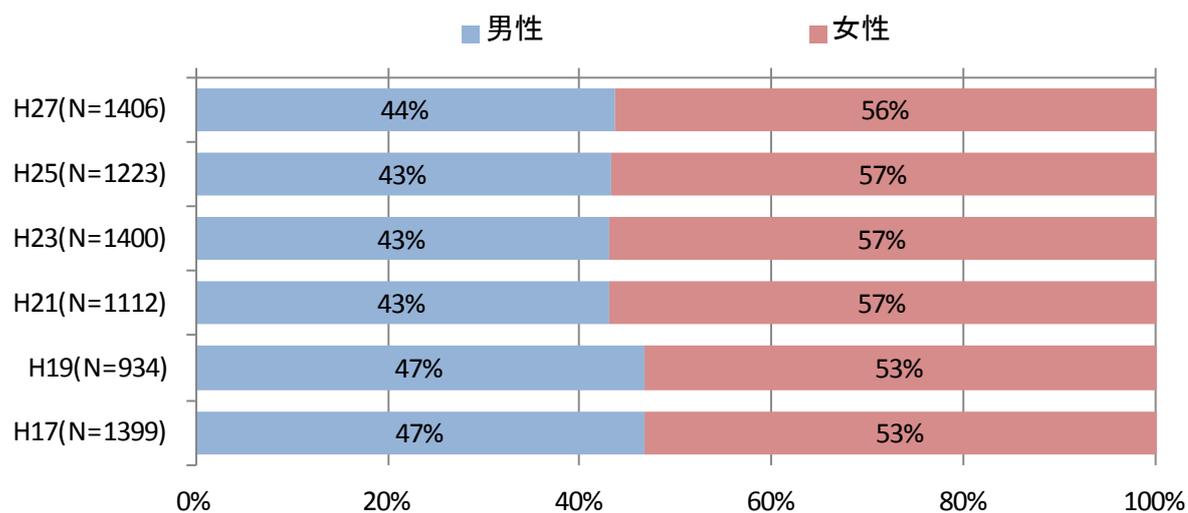


2. 調査結果

(1) 回答者自身について

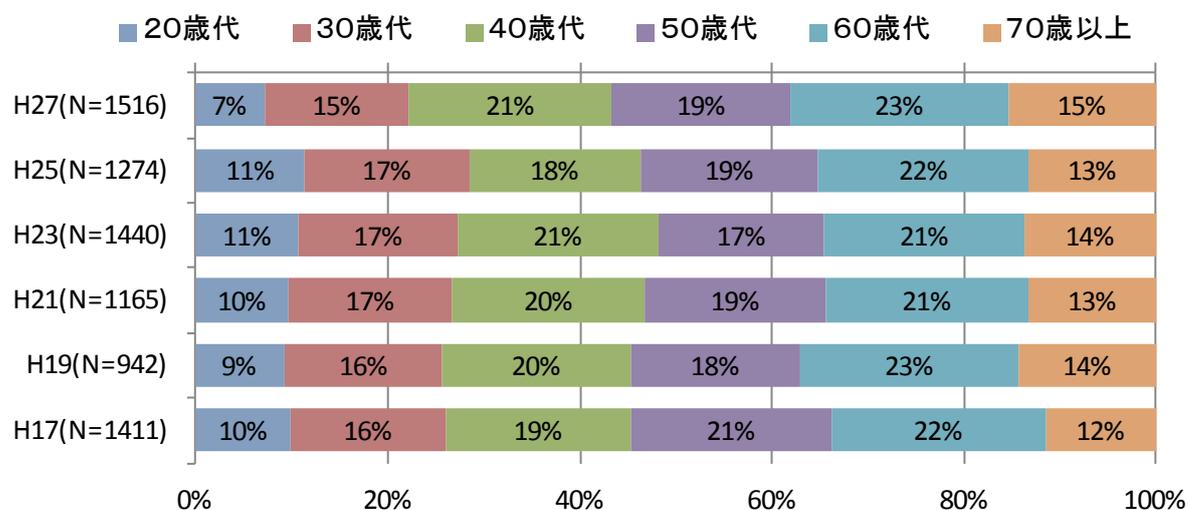
問 1 性別

- ◆女性の割合がやや高くなっています。
- ◆経年的な変化はみられません。



問 2 年齢 (年代)

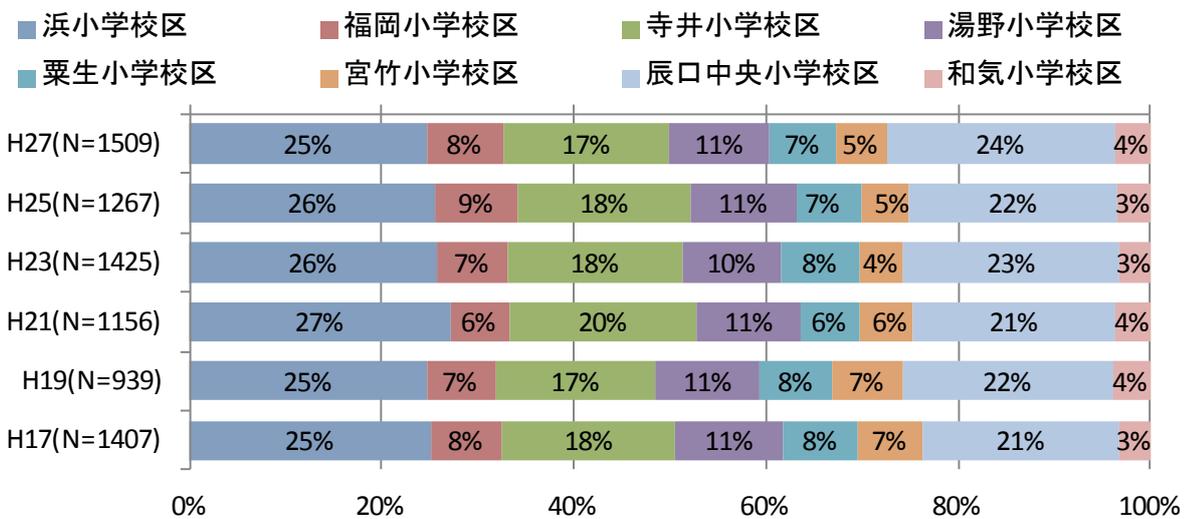
- ◆40～60 歳代の回答者の割合が各々約 20%となっており、全体の約 6 割を占めています。
- ◆「20 歳代」が H25 に比べて 4 ポイント低くなっています。



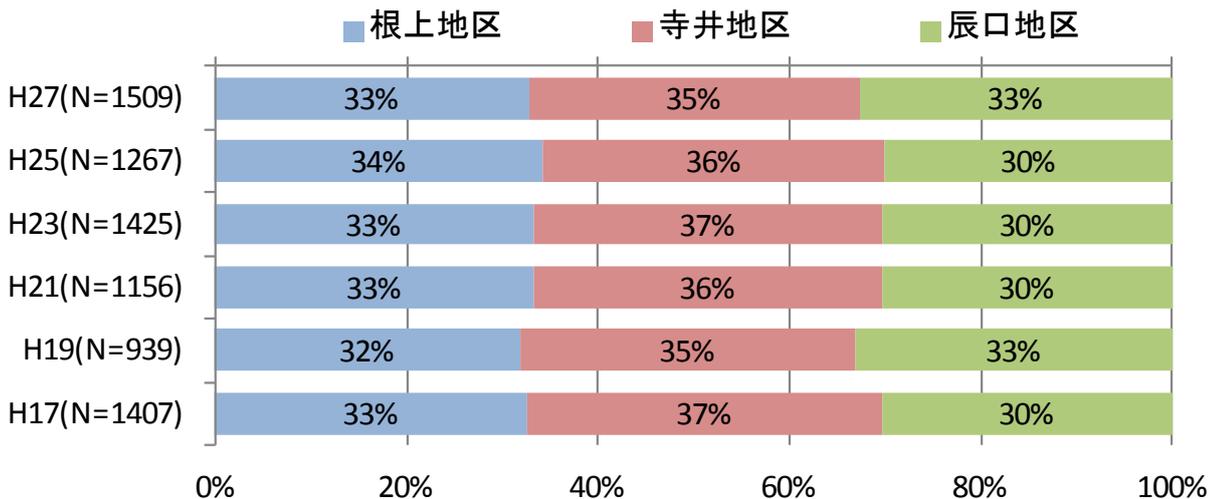
問 3 居住地（小学校区）

- ◆小学校区別でみると「浜小学校区」が 25%と最も多く、次いで「辰口中央小学校区」24%、「寺井小学校区」17%となっています。
- ◆地区別でみると、「寺井地区」が 35%と最も多く、次いで「根上地区」33%、「辰口地区」33%となっています。
- ◆経年的な変化はみられません。

【小学校区別】

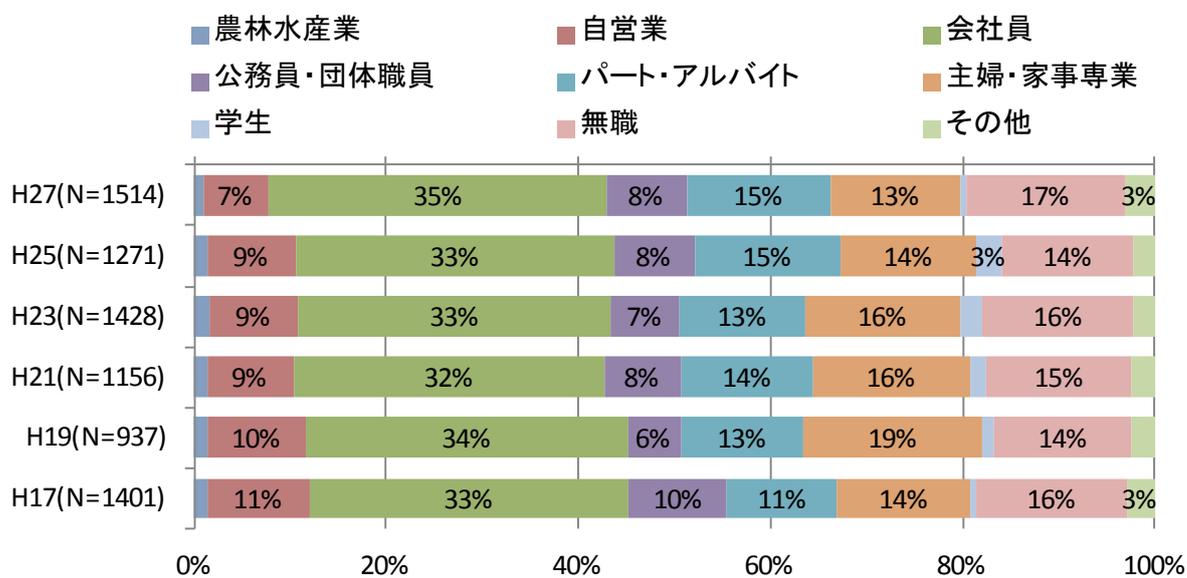


【地区別】



問 4 職業

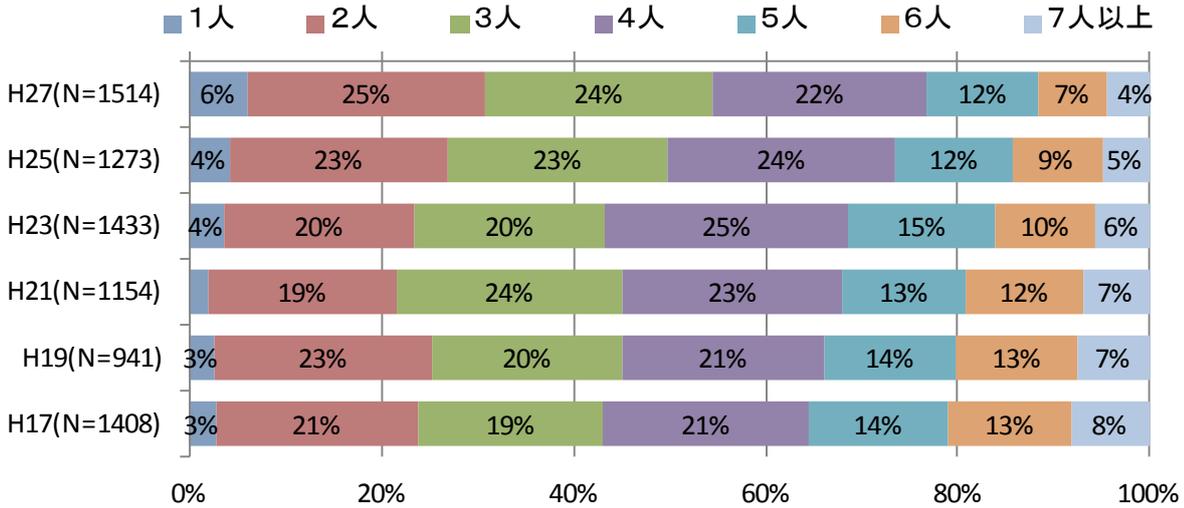
- ◆「会社員」が 35%と最も多く、次いで「無職」が 17%、「パート・アルバイト」が 15% となっています。
- ◆経年的な変化はみられません。



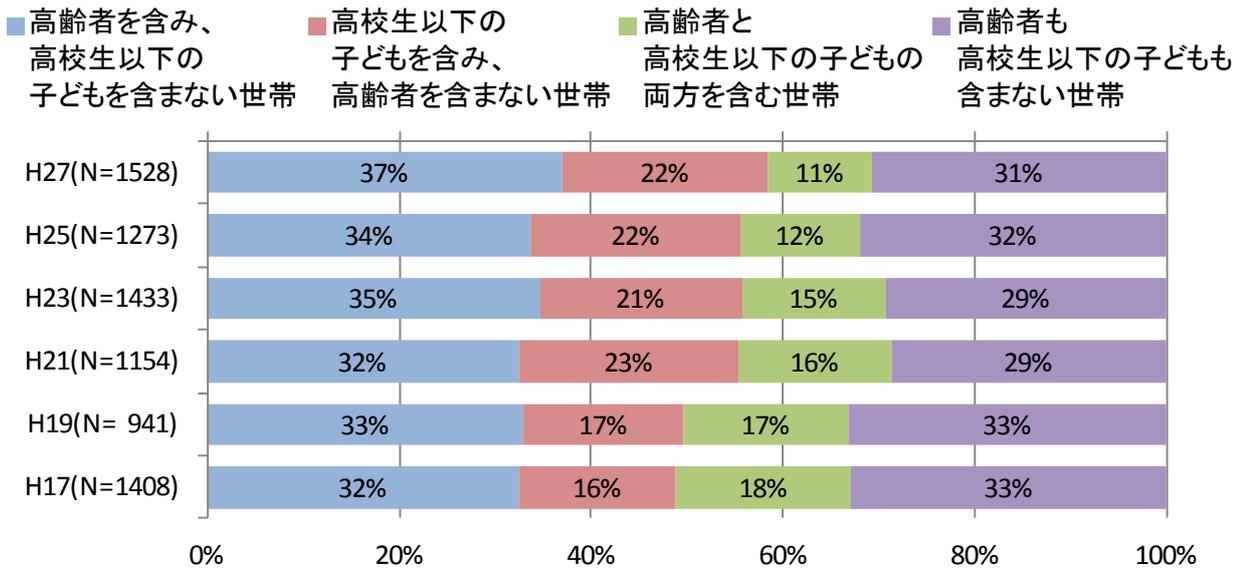
問 5 家族人数（同居）

- ◆ 「2人」が25%と最も多く、次いで「3人」が24%、「4人」が22%となっています。
- ◆ 「6人」以上はH17以降減少しています。
- ◆ 世帯タイプでは経年的な変化はみられません。

【家族人数】

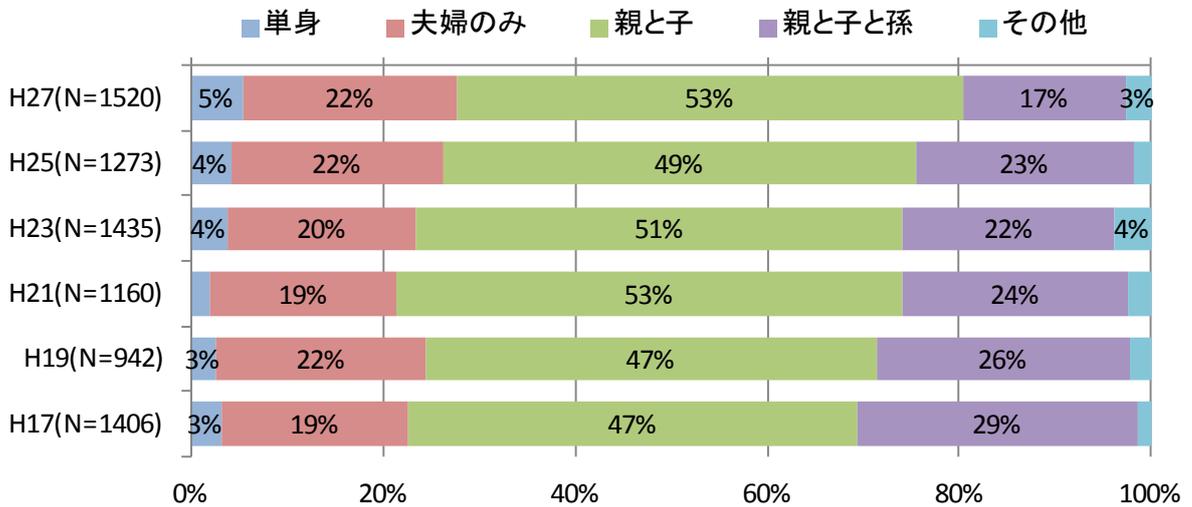


【世帯タイプ】



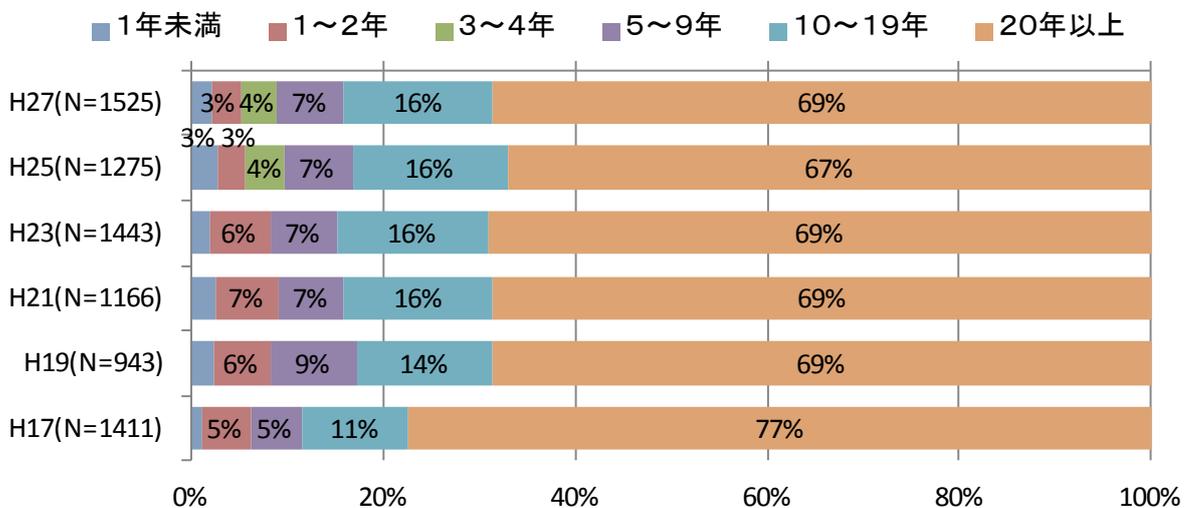
問 6 家族構成

- ◆ 「親と子」が 53%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 22%、「親と子と孫」が 17%となっています。
- ◆ 「親と子と孫」は H25 と比べて 6 ポイント低くなっています。



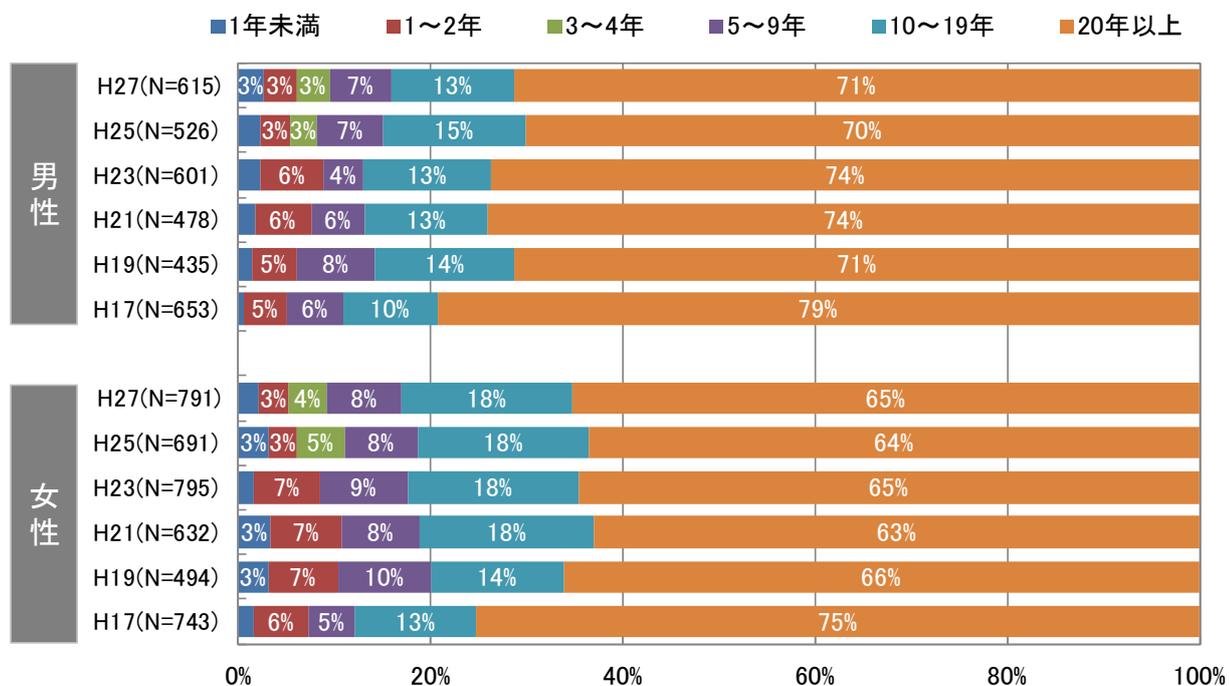
問 7 能美市での居住年数（旧 3 町時代含む）

- ◆ 「20年以上」が 69%と最も多く、次いで「10～19年」16%となっており、10年以上居住している方が約 9 割を占めています。
- ◆ 「20年以上」が H17 から H19 にかけて 8 ポイント減少していますが、それ以降大きな変化はみられません。



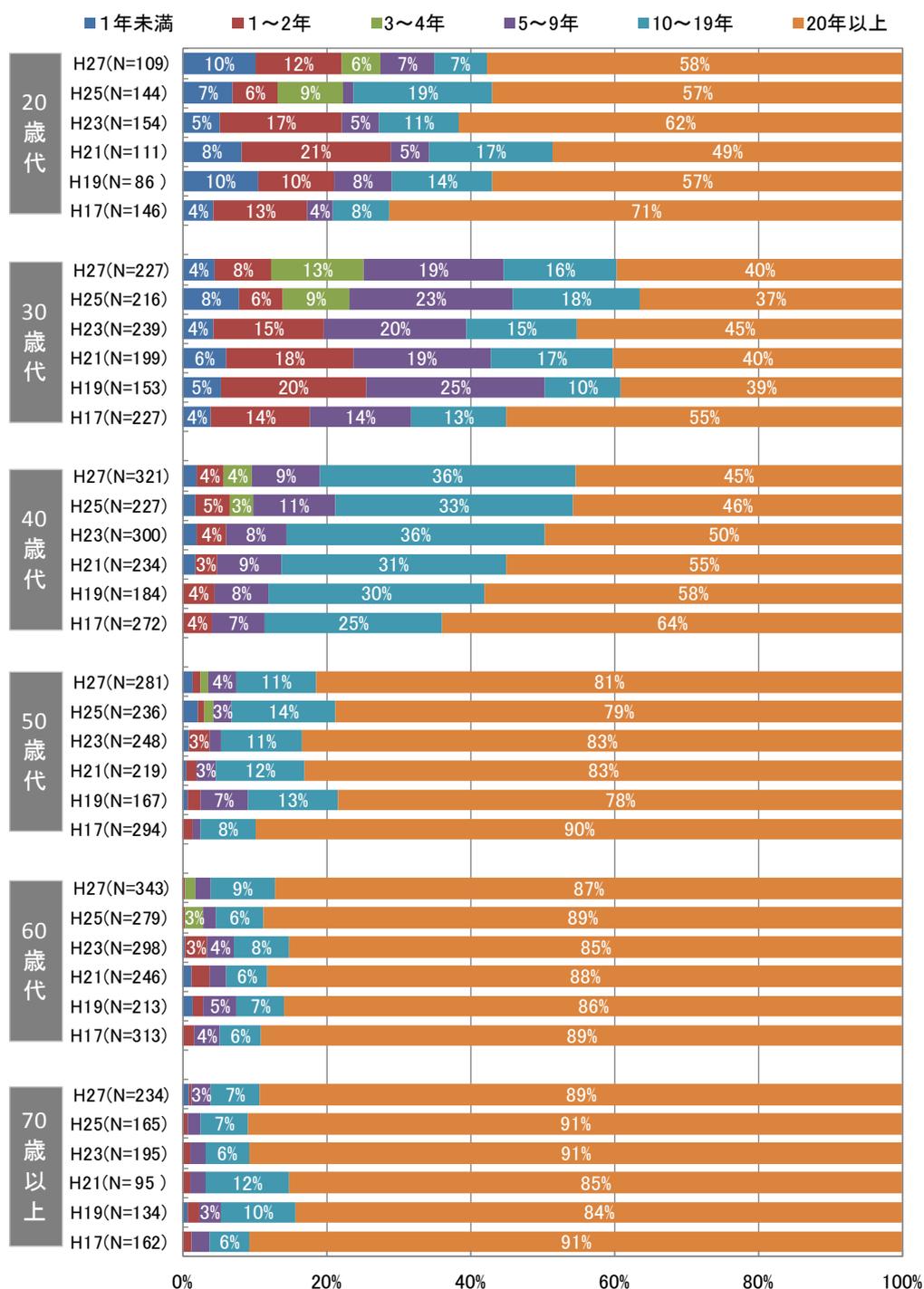
■能美市での居住年数（性別）

- ・男性は「20年以上」が71%と女性より6ポイント高くなっています。
- ・女性は「10～19年」が男性より3ポイント高くなっています。
- ・男女共にH17からH19にかけて「20年以上」が8ポイント以上減少しましたが、それ以降大きな変化はみられません。



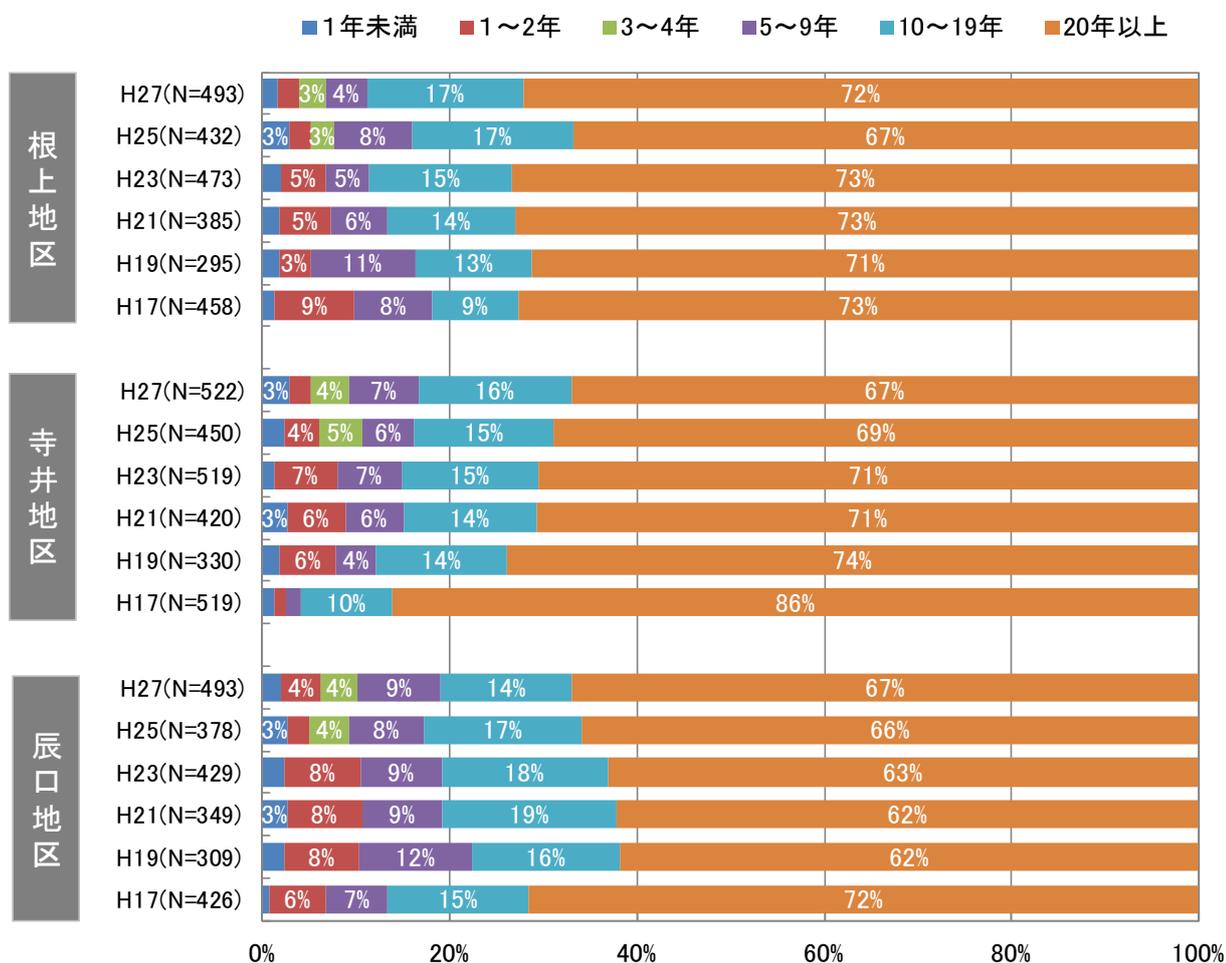
■能美市での居住年数（年代別）

- ・年齢が低いほど「1年未満」や「1～2年」「3～4年」が多くなっており、20～30歳代では約3割を占めています。
- ・30歳代は「5～9年」が19%と、他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。
- ・40歳代は「10～19年」が36%と、他の年代と比べて20ポイント以上高くなっています。
- ・50歳代以上は「20年以上」が約8割を占めており、60歳以上は約9割を占めています。



■能美市での居住年数（地区別）

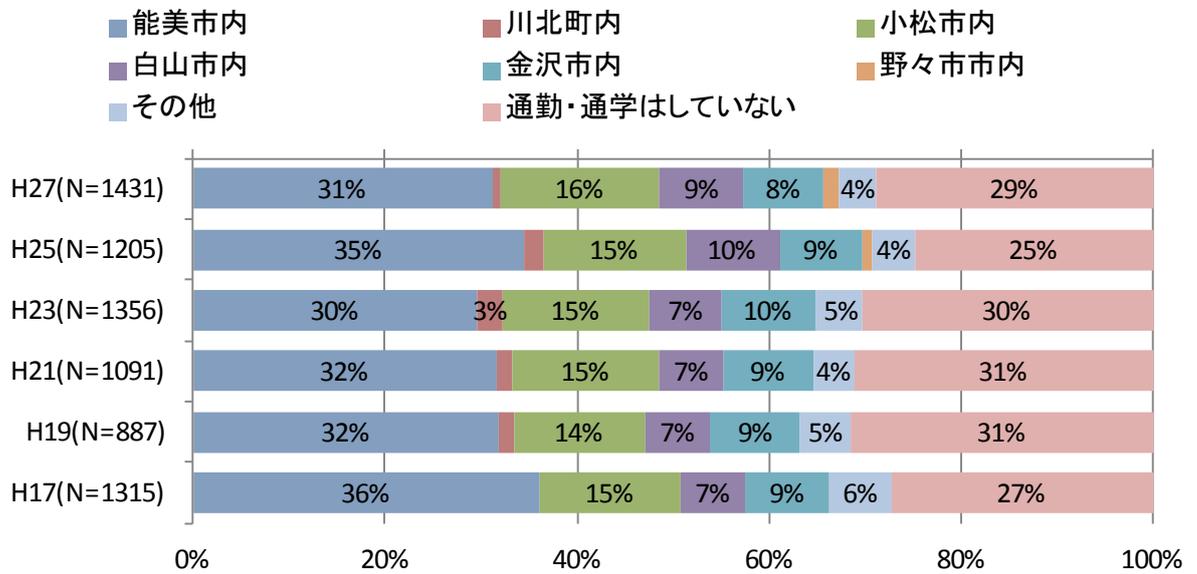
- ・ 3 地区共に「20 年以上」がそれぞれ約 7 割となっています。
- ・ 寺井と辰口は、H17 から H19 にかけて「20 年以上」が 10 ポイント以上低くなっていますが、3 地区共に、H19 以降はあまり変化がみられません。



※「3～4年」は H25 より追加

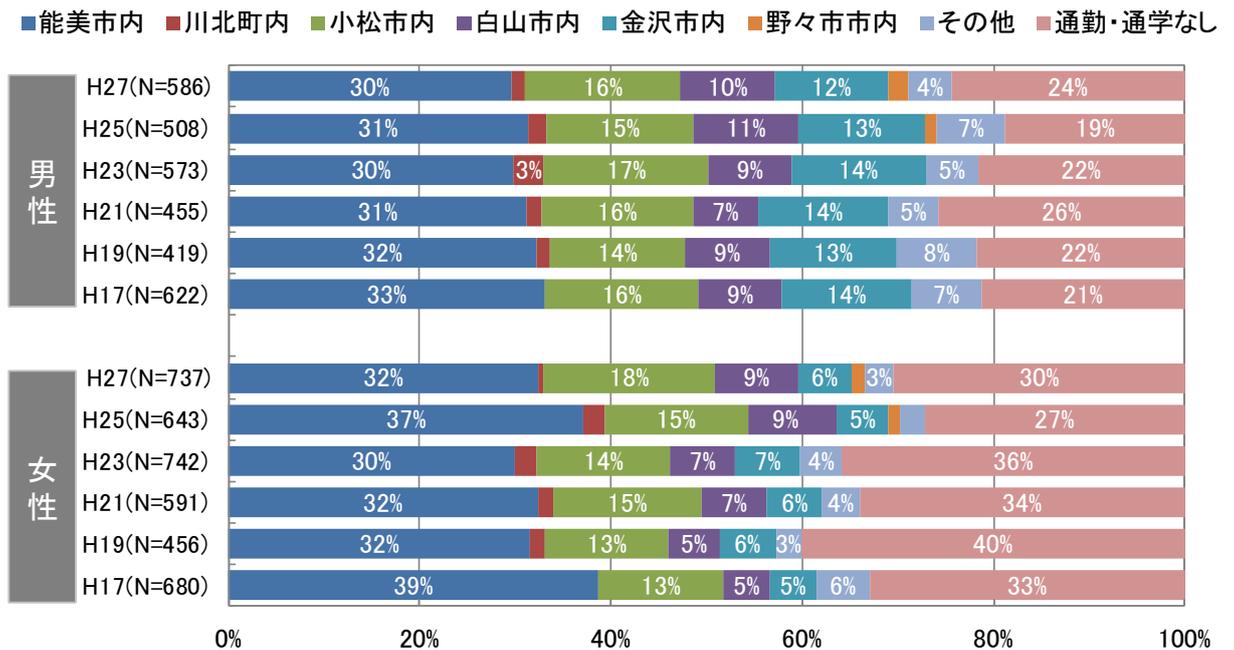
問 8 通勤・通学先

- ◆ 「能美市内」が31%と最も多く、次いで「通勤・通学はしていない」が29%、「小松市内」が16%となっています。
- ◆ 「能美市内」がH25に比べて4ポイント低くなっています。



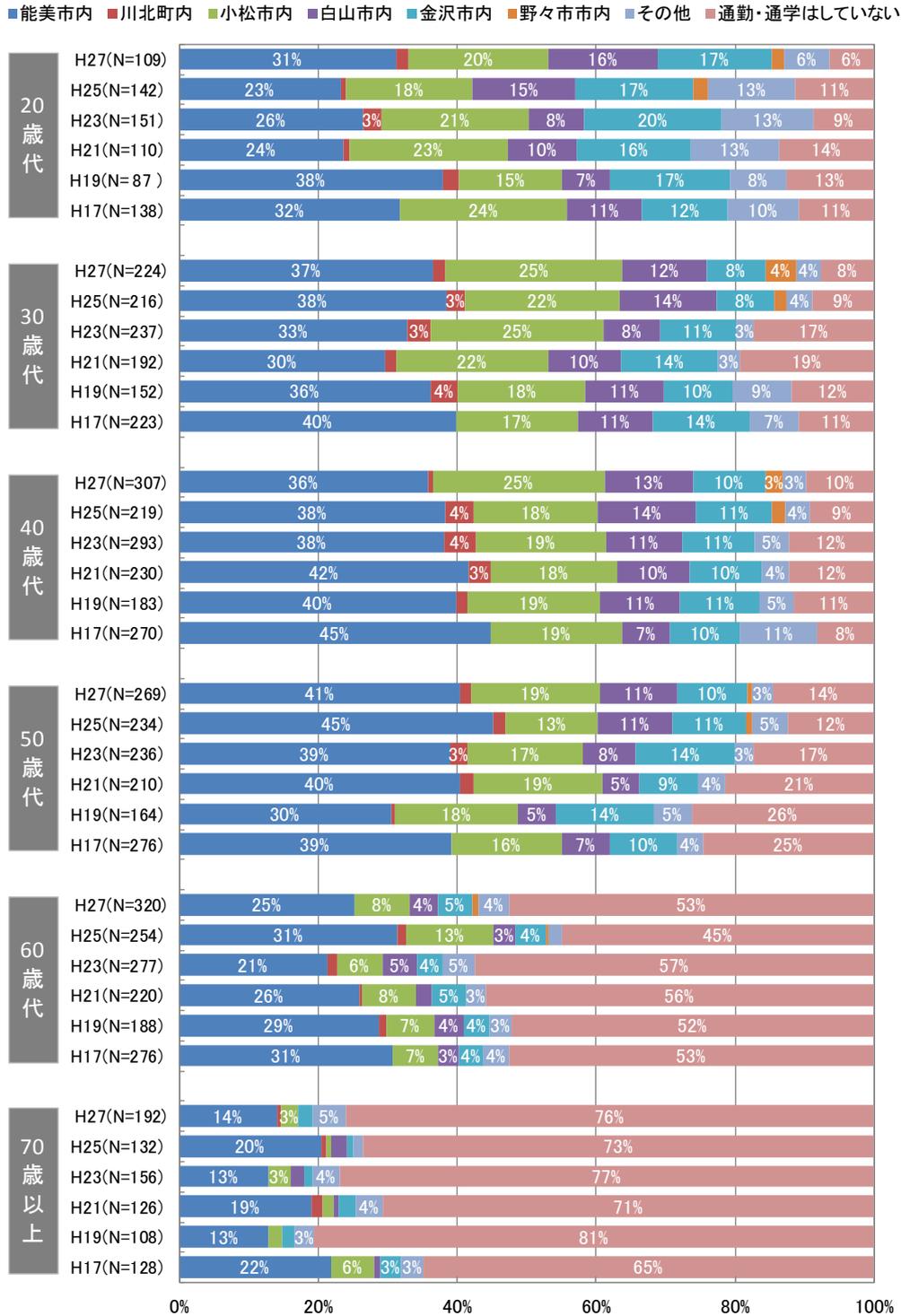
■ 通勤・通学先（性別）

- ・ 男性は「金沢市内」が女性より6ポイント高くなっています。
- ・ 女性は「通勤・通学なし」が男性より6ポイント高くなっています。



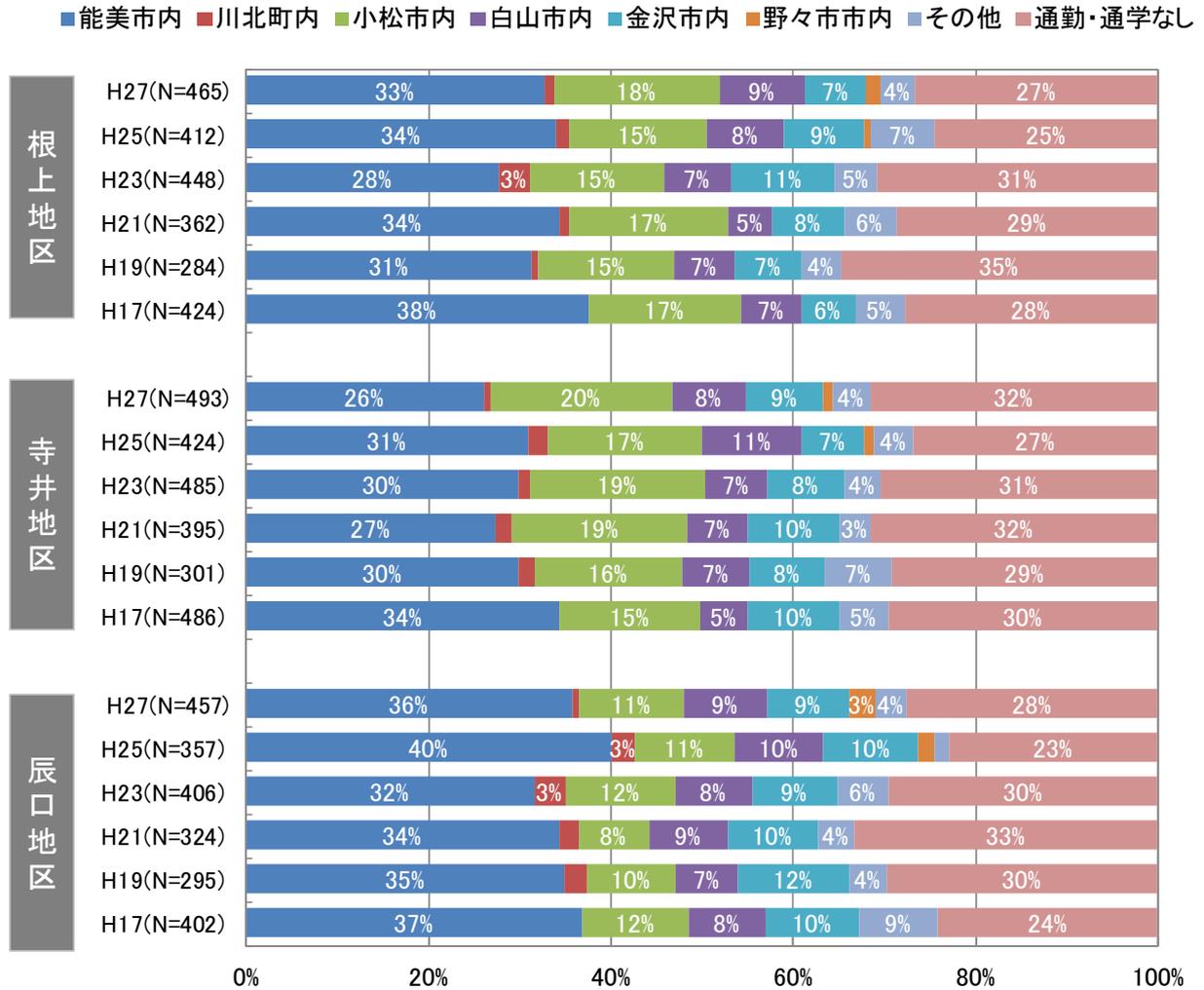
■通勤・通学先（年代別）

- ・ 20 歳代から 50 歳代は「能美市内」、60 歳以上は「通勤・通学なし」が最も多くなっています。
- ・ 20 歳代から 50 歳代は「小松市内」が増加傾向にあります。



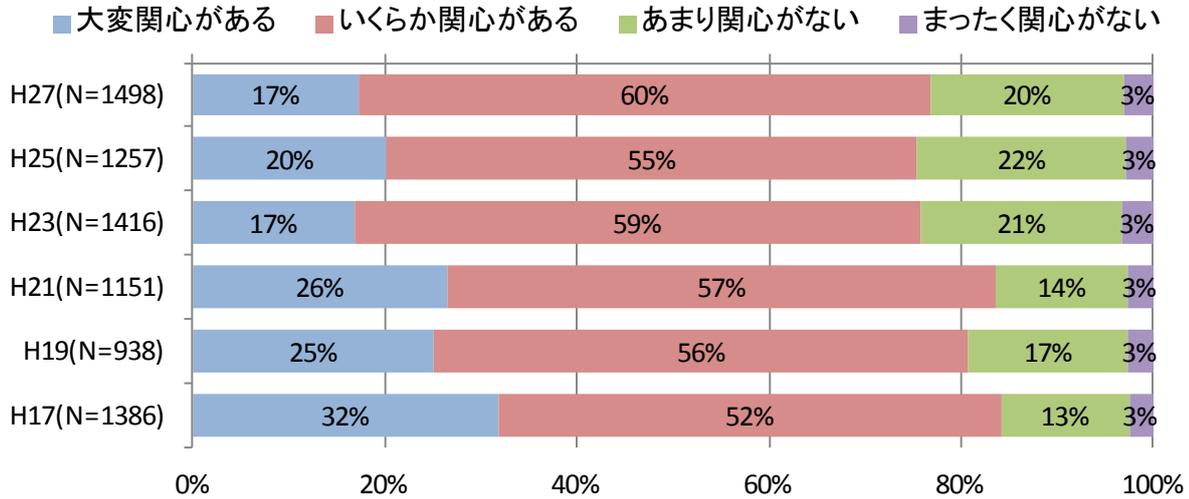
■通勤・通学先（地区別）

- ・ 3 地区共に、「能美市内」がそれぞれ減少し、「通勤・通学なし」がそれぞれ増加傾向にあります。
- ・ 根上、寺井は「小松市内」が H25 に比べて 3 ポイント高くなっています。
- ・ 寺井、辰口は「通勤・通学なし」が H25 に比べて 5 ポイント高くなっています。



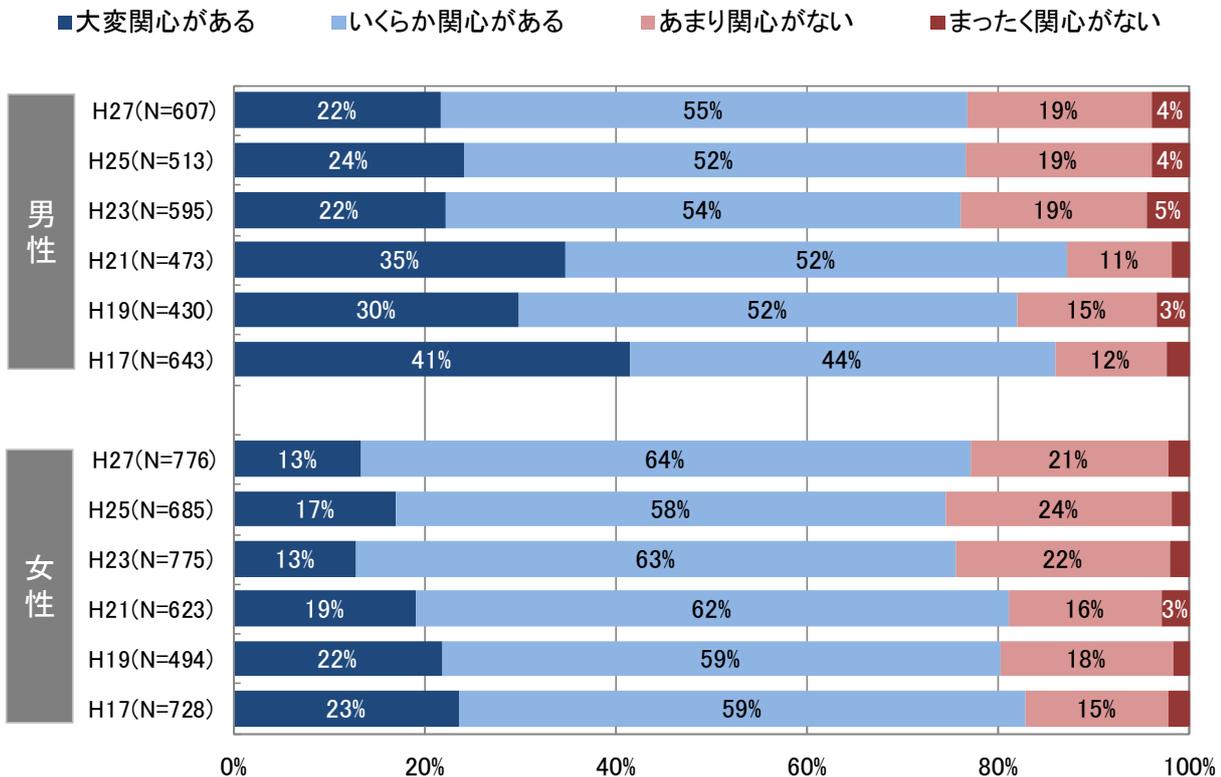
問 9 能美市の行政に関心がありますか？

- ◆ 「いづらか関心がある」が 60%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が 20%、「大変関心がある」が 17%となっており、市政に関心のある方が約 8 割を占めています。
- ◆ H17、H19、H21 の「大変関心がある」「いづらか関心がある」の合計は大きな差がみられませんが、H23 以降は 4 ポイント以上減少しています。



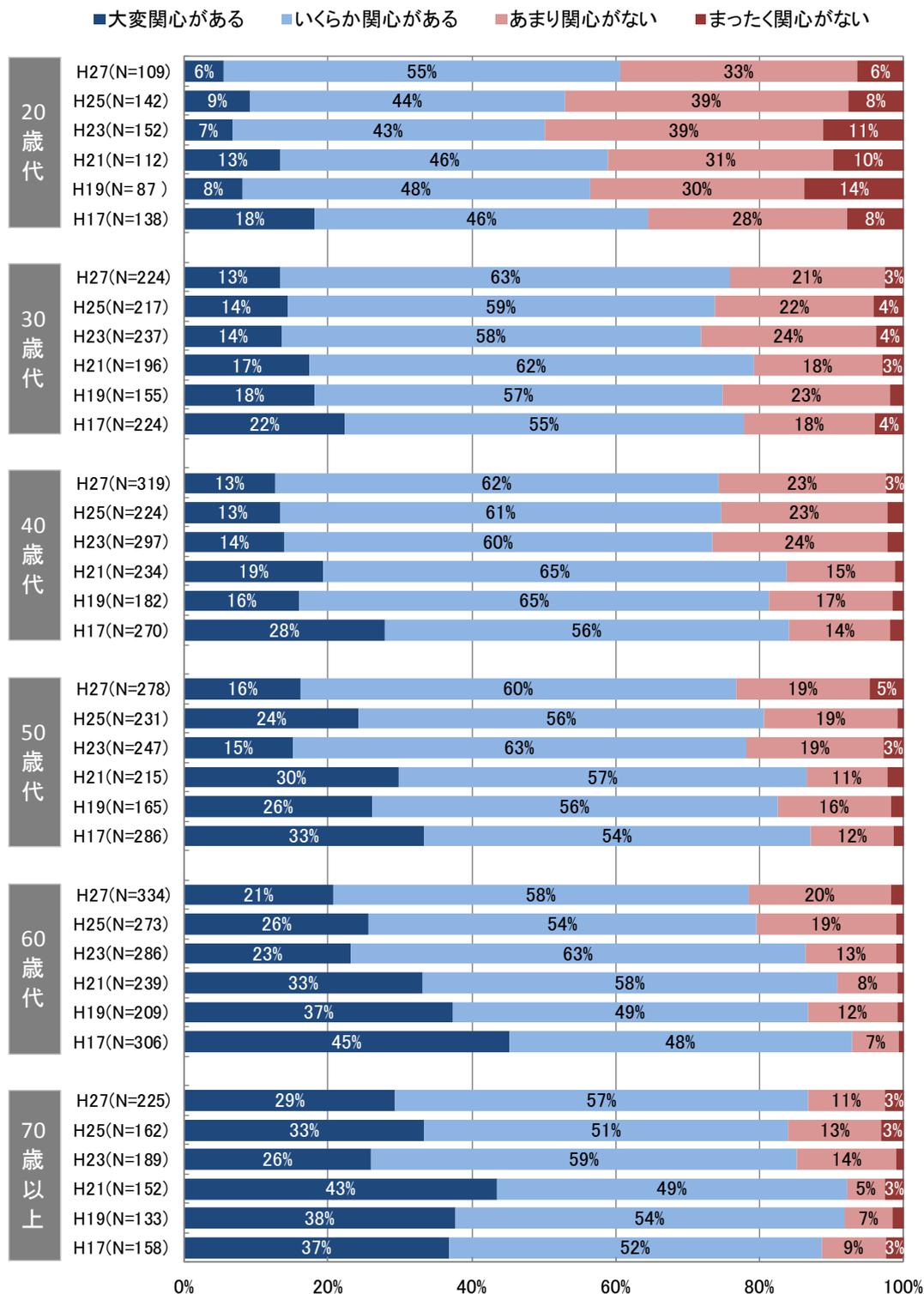
■ 市政への関心（性別）

- ・ 男性は「大変関心がある」が 22%と女性より 9 ポイント高くなっています。
- ・ 男女共に「大変関心がある」が、H25 に比べて減少傾向にあります。



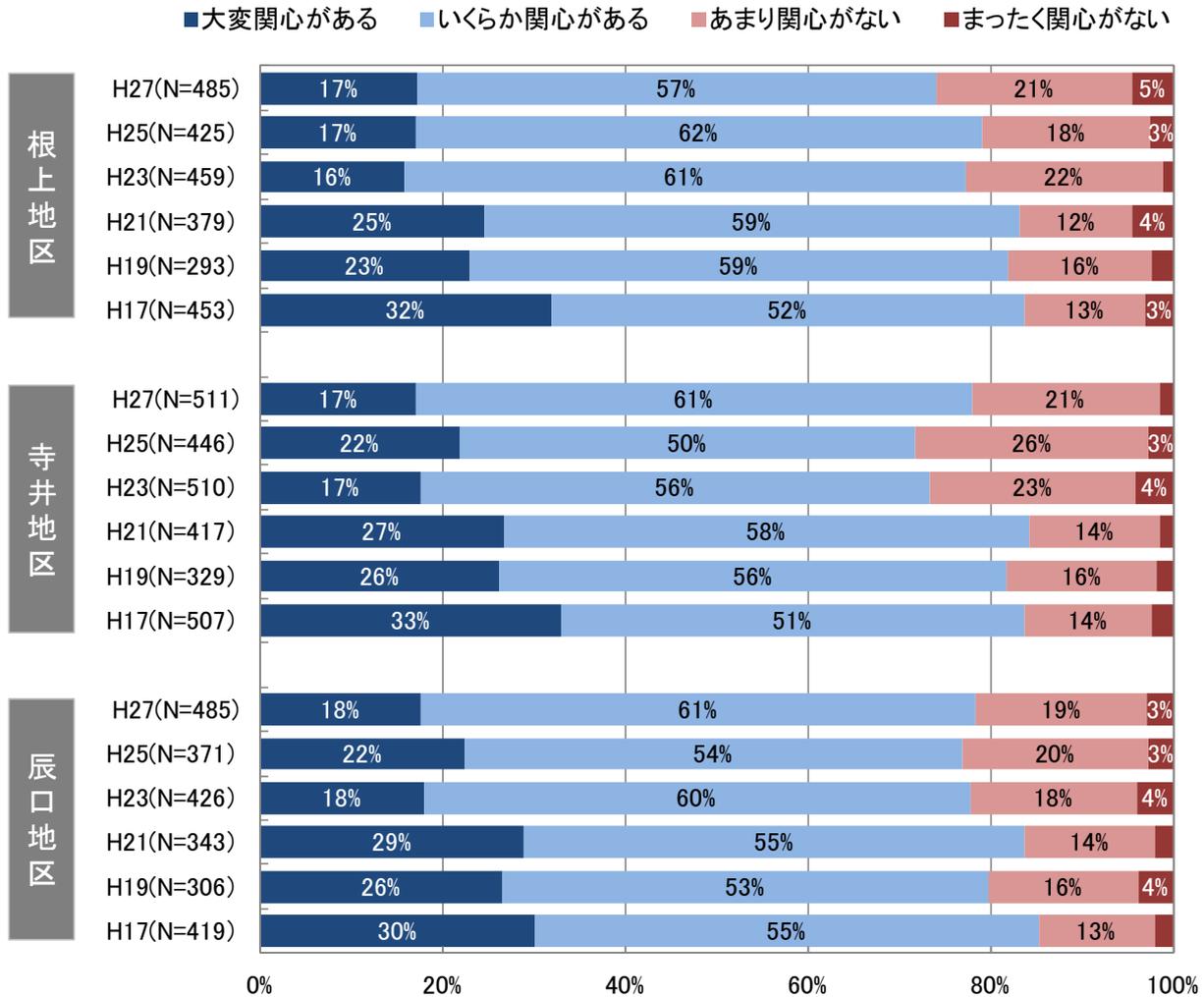
■ 市政への関心（年代別）

- ・年代が高くなるほど「大変関心がある」や「いくらか関心がある」が多くなり、市政への関心が高くなっています。一方で、年代が若いほど関心は低く、20 歳代は「あまり関心がない」が他の年代と比べ 10 ポイント以上高くなっています。
- ・40 歳代以外は、H25 に比べて「大変関心がある」が減少しており、特に 50 歳代は 8 ポイント、60 歳代は 5 ポイントと大きく減少しています。



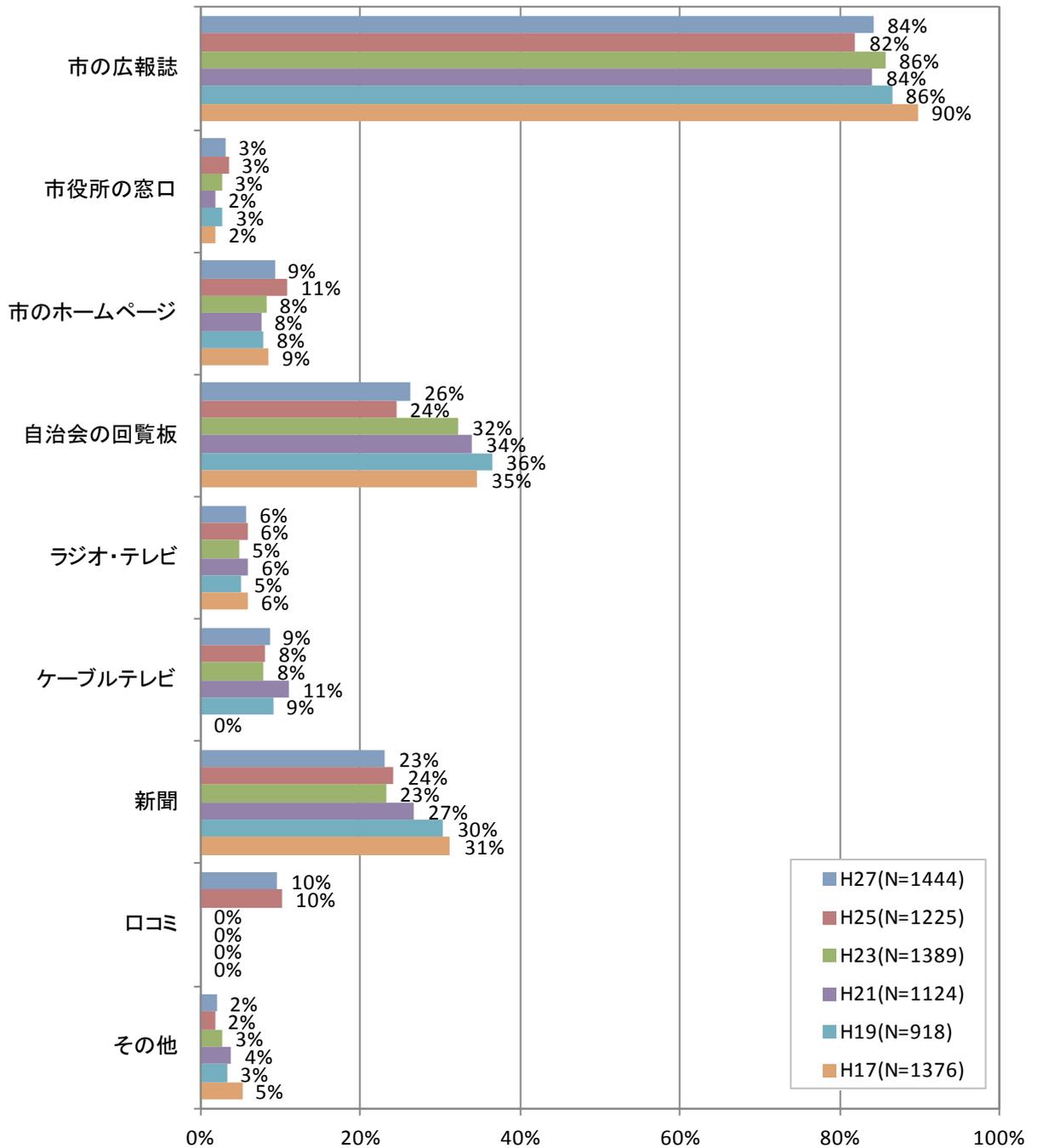
■ 市政への関心（地区別）

- ・「大変関心がある」「いづらか関心がある」の合計は、根上で5ポイント減少、寺井は6ポイント増加、辰口はあまり変化がみられません。
- ・全ての地区で「あまり関心がない」「まったく関心がない」の合計が約2割を占めています。
- ・寺井、辰口は「いづらか関心がある」がH25に比べて7ポイント以上増加しています。一方「大変関心がある」が4ポイント以上減少しています。



問 10 市政情報の主な入手方法は何ですか？（主な2つに○）

- ◆ 「市の広報誌」が 84%と最も多く、次いで「自治会の回覧板」が 26%、「新聞」が 23% となっています。
- ◆ 「市役所の窓口」「市のホームページ」「ラジオ・テレビ」「ケーブルテレビ」はそれぞれ 1割未満となっています。

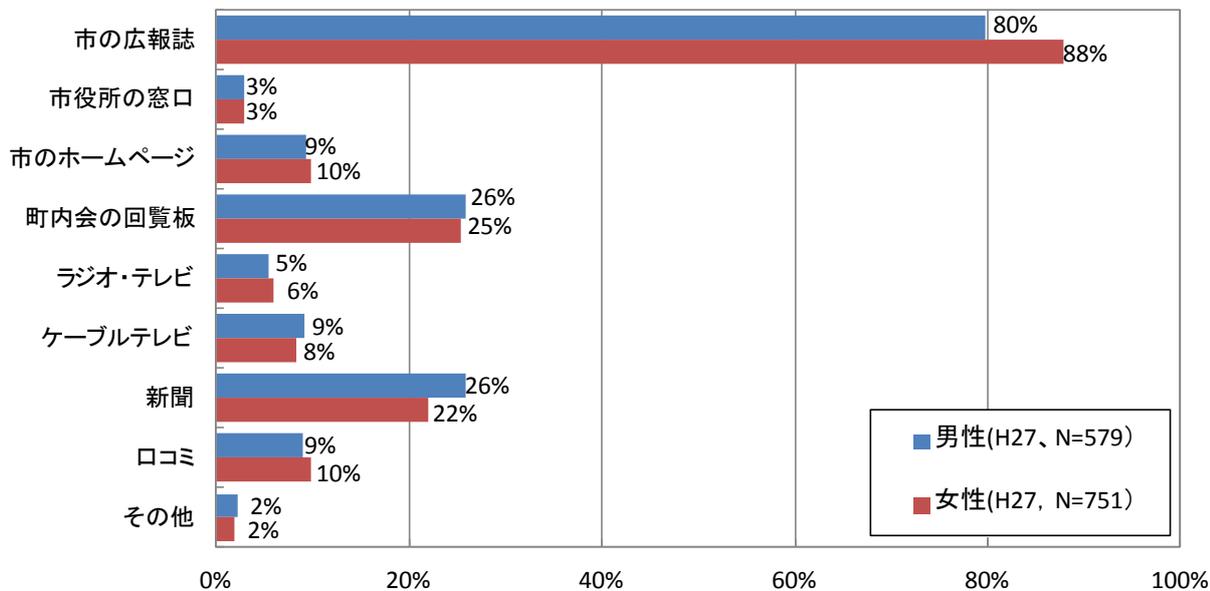


※ 「ケーブルテレビ」はH17には調査項目なし、「口コミ」はH25より追加

■ 市政情報の入手方法（性別）

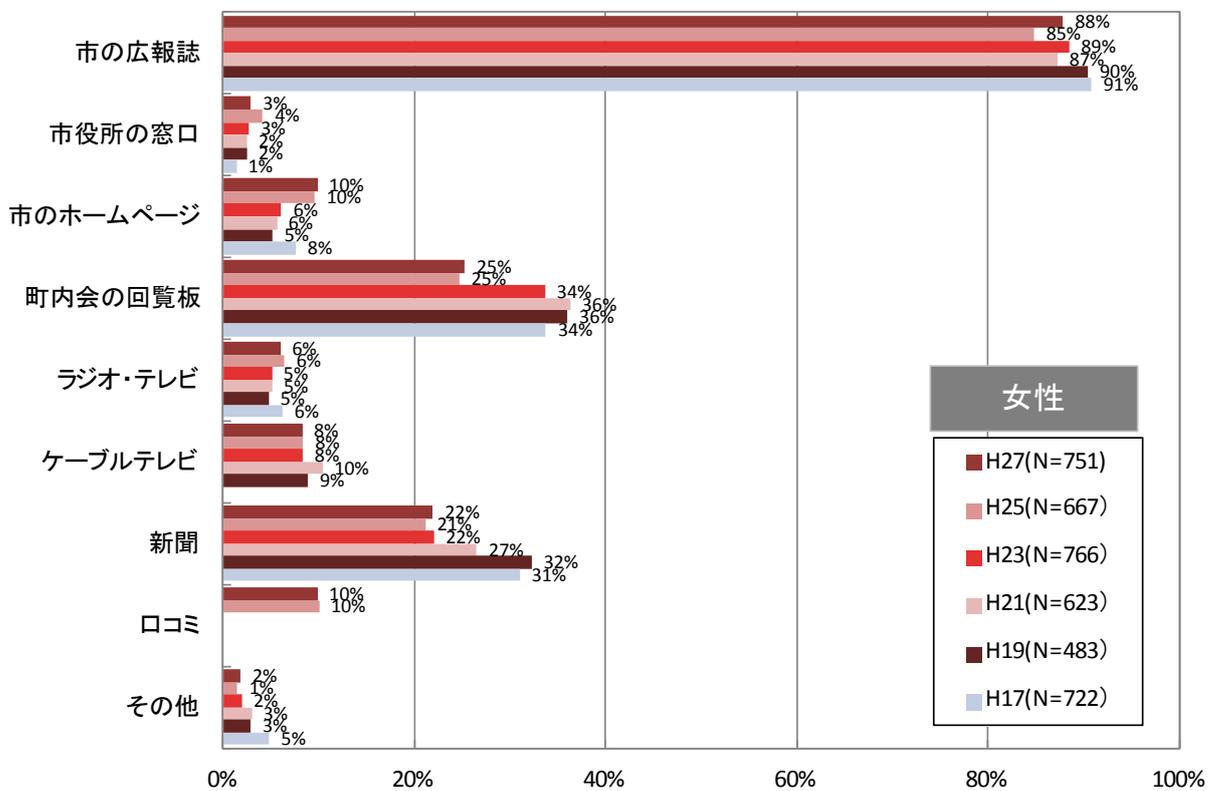
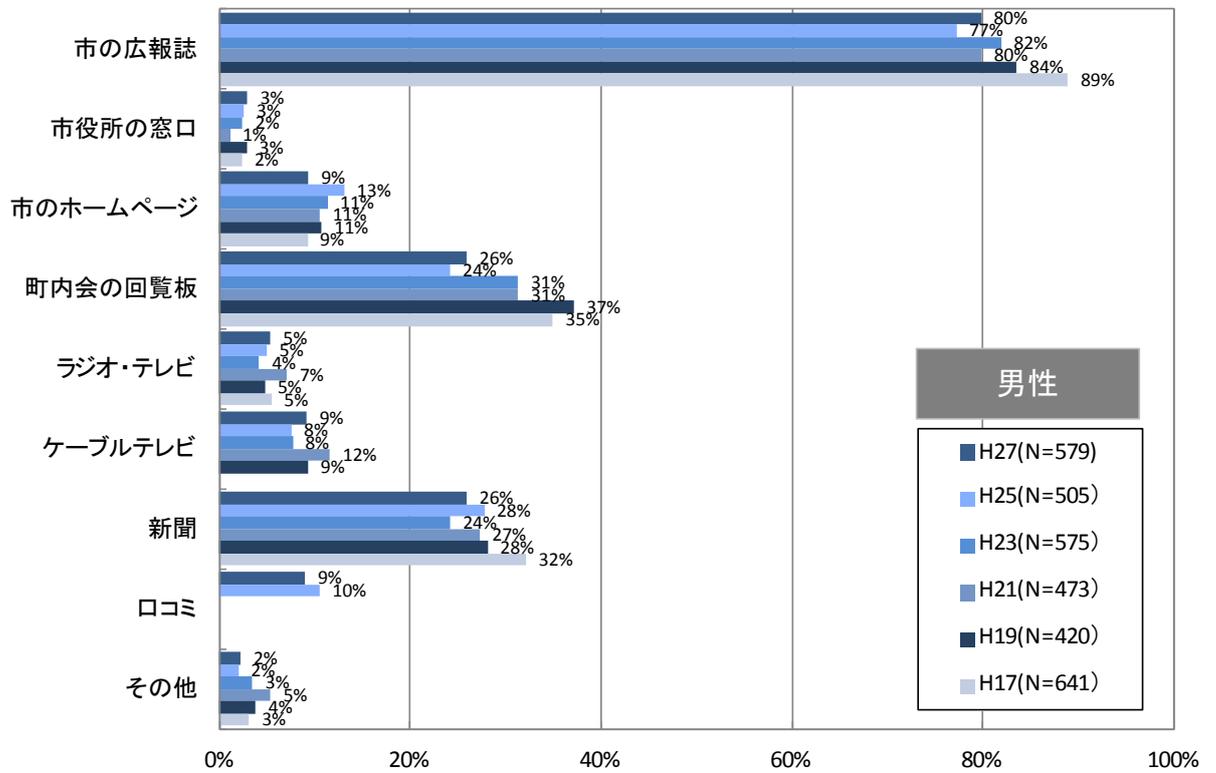
【今回（H27）】

- ・男女共に「市の広報誌」が 8 割以上を占めており、女性は男性よりも 8 ポイント高くなっています。
- ・男性は「新聞」が 26%と、女性より 4 ポイント高くなっています。



【経年変化】

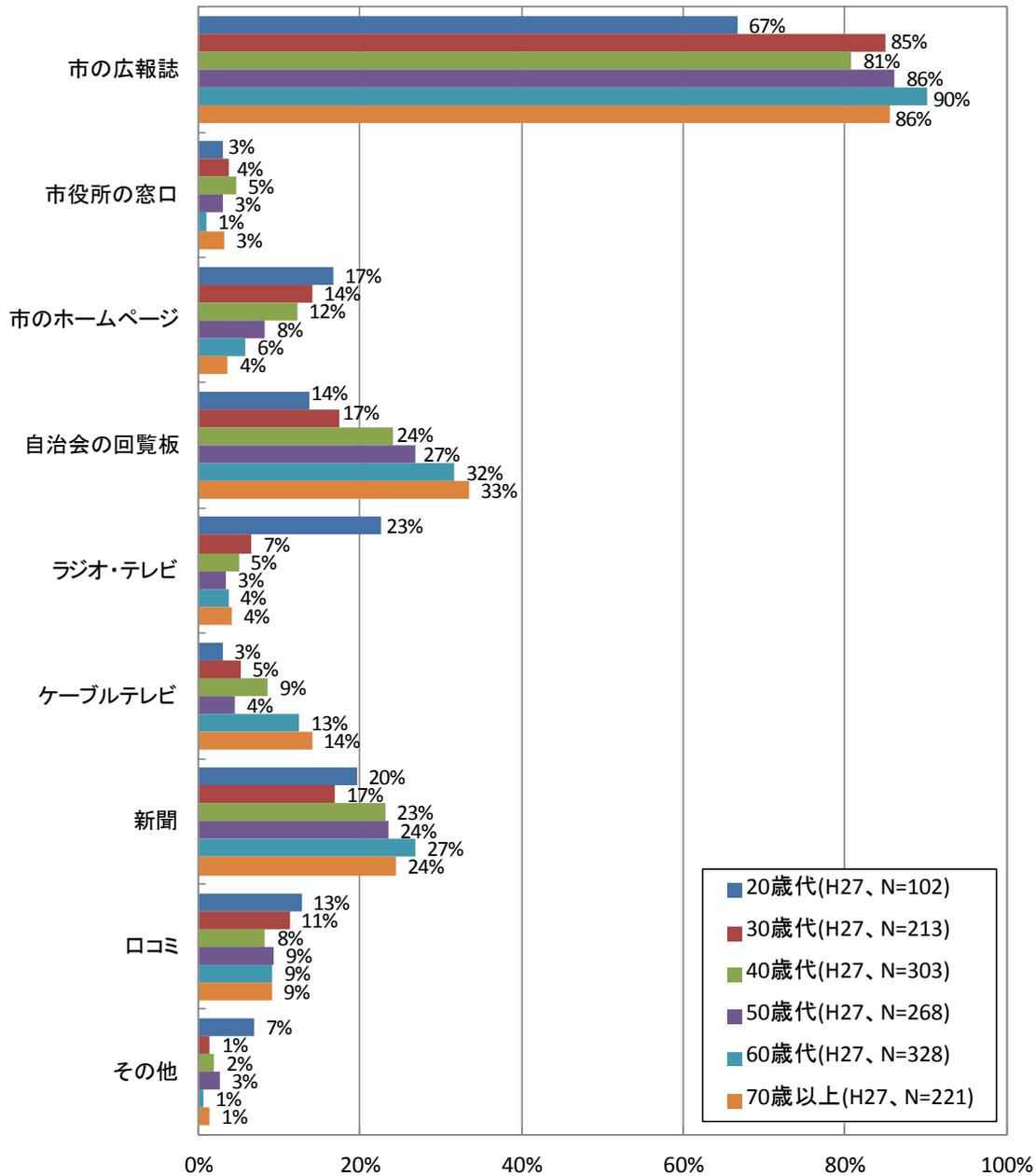
・男女共に「市の広報誌」が H25 に比べて増加しています。



■ 市政情報の入手方法（年代別）

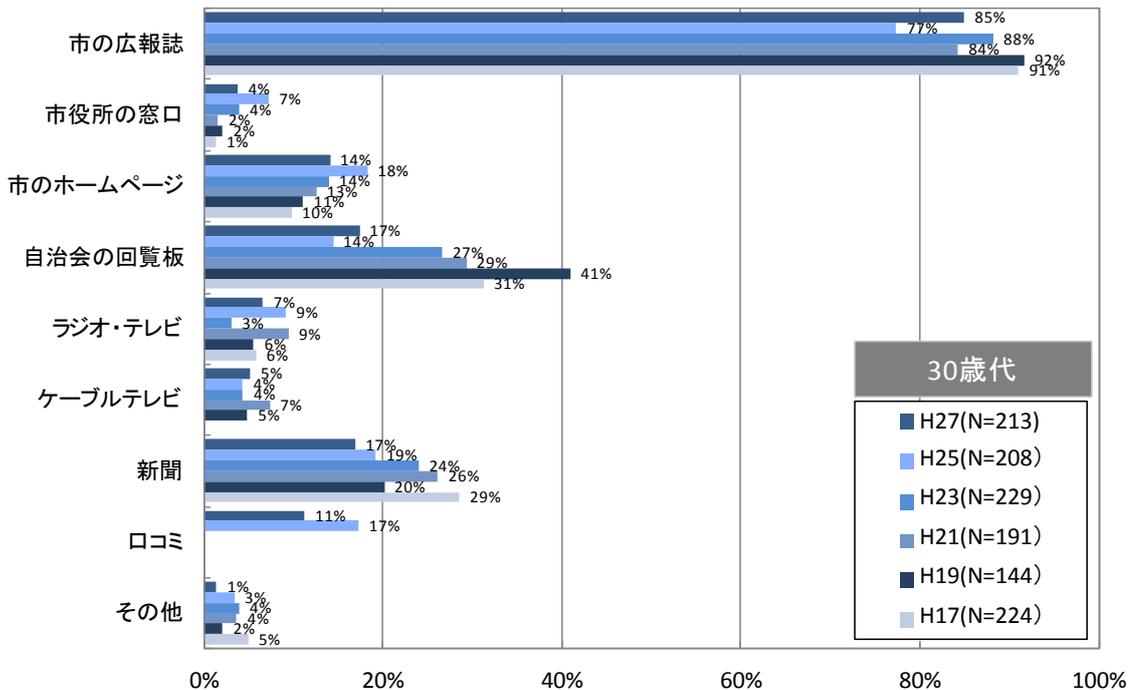
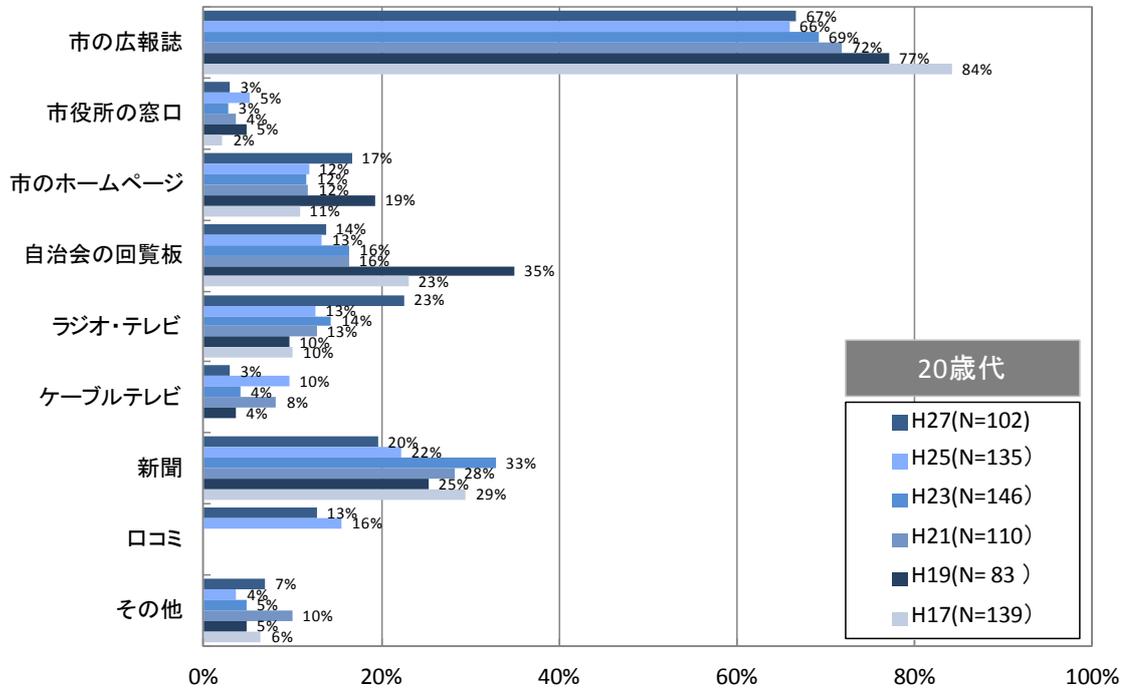
【今回（H27）】

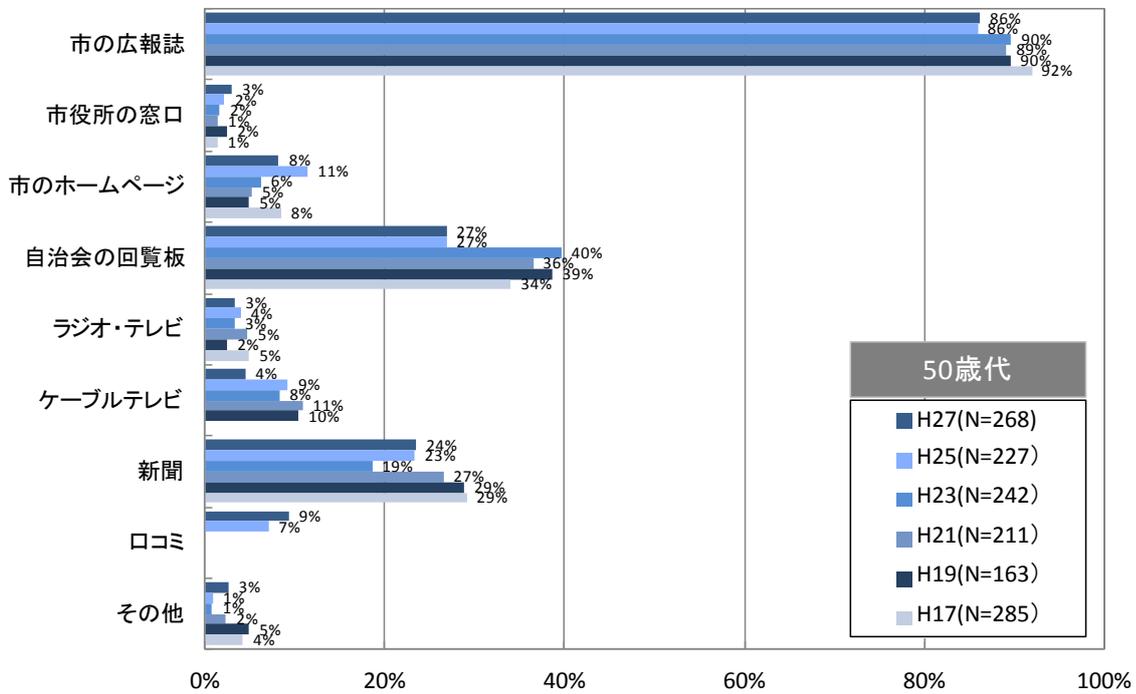
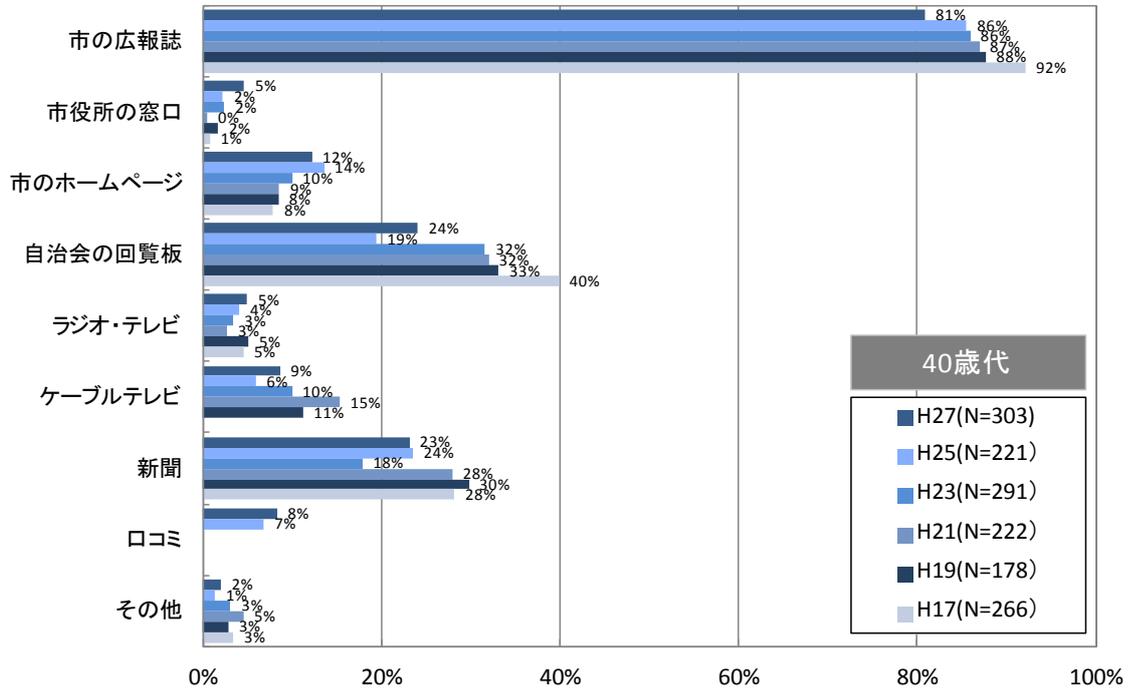
- ・どの年代においても「市の広報誌」が最も多くなっていますが、20 歳代は他の年代と比べて14ポイント以上低くなっています。
- ・20～40 歳代は「市のホームページ」が1割以上となっていますが、年代が上がるほど減少しています。
- ・60 歳以上は「自治会の回覧板」が約3割と多くなっていますが、40 歳代以下は年代が下がるほど減少しており、特に20 歳代は60 歳代より19ポイント低くなっています。

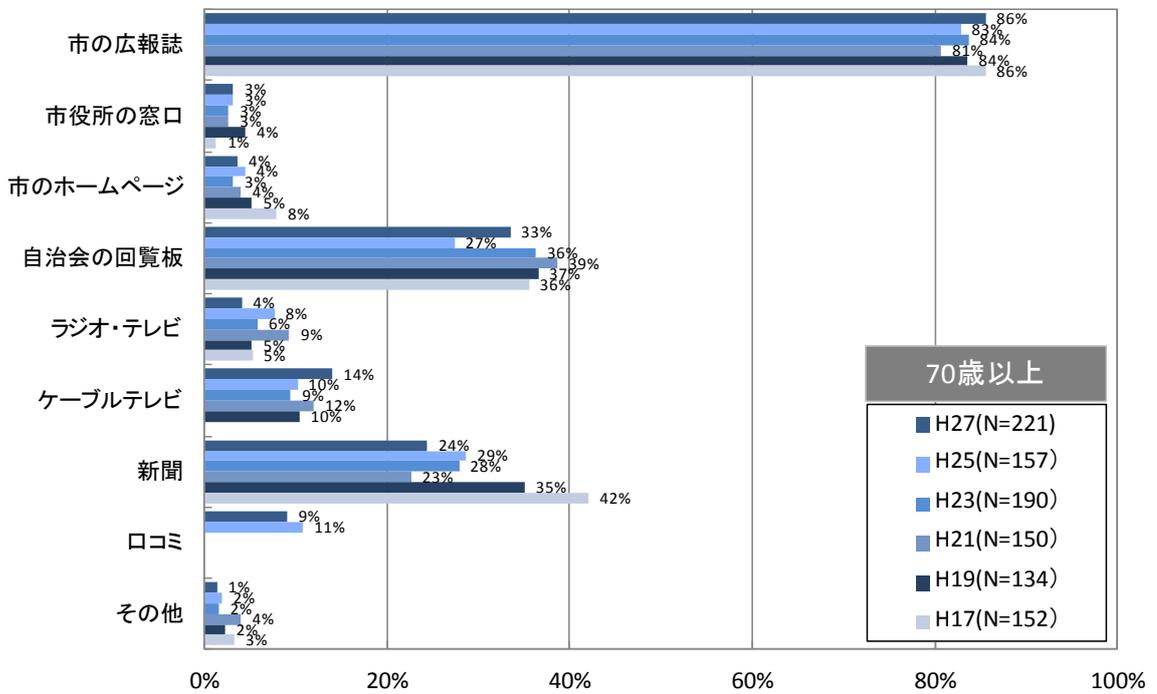
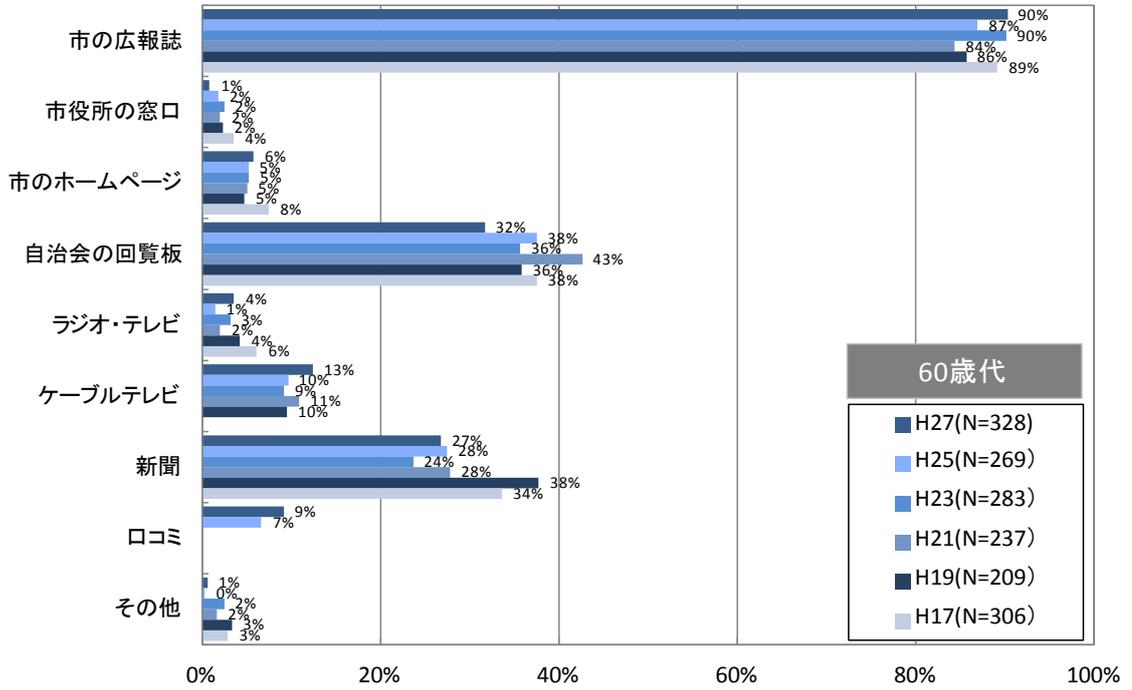


【経年変化】

- ・ 20 歳代は「市の広報誌」が H17 以降減少傾向にあります。
- ・ 50 歳代以外は「新聞」が H25 に比べて減少しています。
- ・ 50 歳代、60 歳代以外は「自治会の回覧板」が H25 に比べて増加しています。



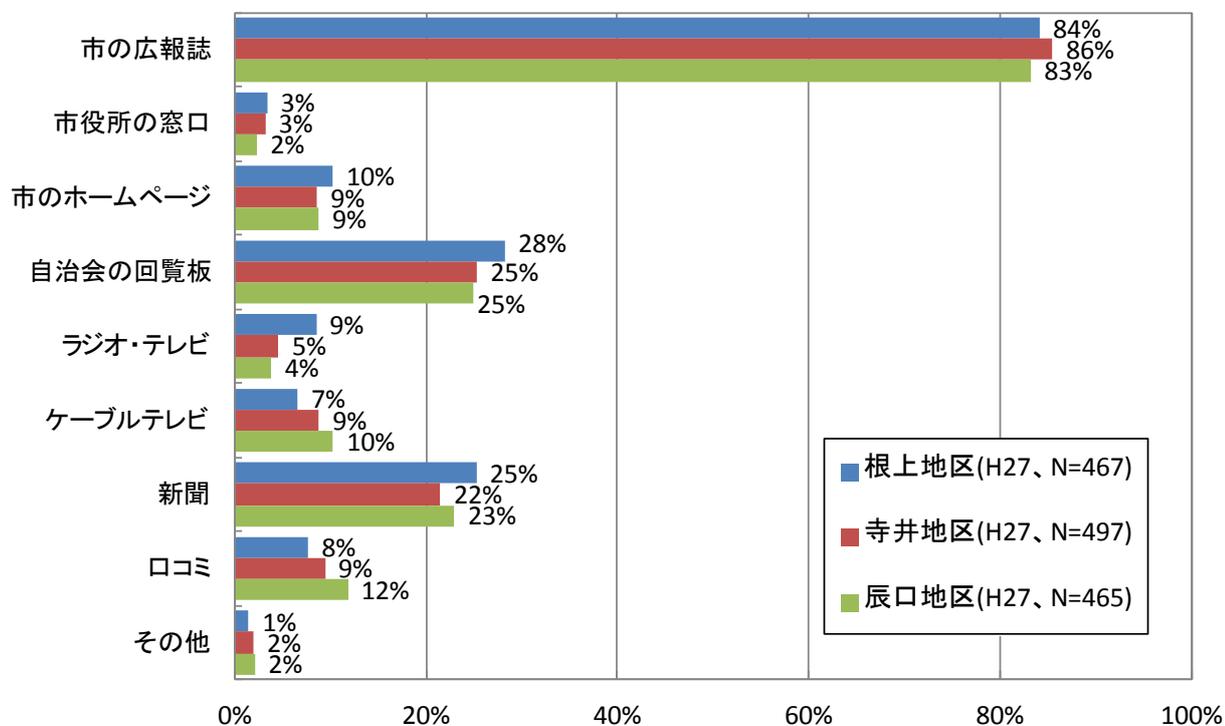




■ 市政情報の入手方法（地区別）

【今回（H27）】

- ・ 全ての地区の 8 割以上が「市の広報誌」から市政情報を入手しています。
- ・ 根上は「自治会の回覧板」が 28% と他の地区より 3 ポイント高くなっています。



【経年変化】

・地区別ではあまり大きな変化は見られません。

